

第3回 羽村市まち・ひと・しごと創生計画懇談会 グループディスカッション

2015/08/21 201・202会議室

グループ	懇談会での議論(メモ)
①池田委員、 田嶋委員、 寺島委員、 伊藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょうどよい環境で質を上げる。(学業)教育の質 → 良い仕事 ・農業でもよい。→ 質の向上 ・職・住の接近 → 時間の有効活用。 ・柱が無い。 ・キャッツフレーズのようなものが必要。 ・ちょうどいい例を出す。 ・子供に対して、考えられた街。
②井手委員、 宇津木委員、 渋谷委員、 小林委員	—
③岡委員、 高橋委員、 折原委員、 羽村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・羽村の子は体力測定が東京都1! 「はむライザップ」 ・公園のトイレ汚い! ・都会と田舎のちがひ。(家のカギをしめる、しめなくても平気) ・羽村大好き「みんなの背中に羽が生えているまち」 → 子どもにはみんな羽が生えている。 ・結婚しても子どもを1人しか作らなかつたら意味がない? ・子ども多い家庭には補助を? ・羽村市 安心(ホッとする!) → ふるさとだから? 風が動いてる。 ・町内会のまとまりがある。 → つながり。加入率を上げたい。隣人との付き合い。安心。 ・市内に住むシルバーが役所の仕事を担う!(例:公園の木を切る。) ・羽村市はまだそこまで深刻ではない!? ・役所がやる施策っぽい。(市民は?) ・どんなことを若い女性にアピールするのか?(今の子育て環境は実際どうなの?) ・シルバー、障害者は? ・羽村動物園を広げて、園内に住む!? → 予算をもらって整備 → 「はむらしさ」としてどう使うか。教育の一環として。
④大和田副会長 山本(三)委員、 勝山委員、 清水委員	—